

単
元
名**「Power up-① Writing 連休の思い出」**
be 動詞、一般動詞の過去形を使って夏休みにしたことを書くことができる！

本単元で育成する資質・能力

高い志、チャレンジ精神、振り返る力

単元について

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年）「書くこと（ア）」における「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。」に基づいて設定する。

この単元は、構想をもとに過去にしたことについての英文の書き方を知り、自分のことについて思いを書く活動である。また、身近な出来事を自分の言葉で実際に書くことで表現する力を高めると共に、友だちとの交流でさらなる内容を深めることができる。身近な内容を設定し 1 年生の教科書等で参考になるページを参考にしながら英文を書いていく。辞書を積極的に活用することで、自分で主体的に学力を養う。

生徒の実態

次の表は、英語に関するアンケート（7 月）の結果をまとめたものである。（第 2 学年 113 名）

「英語の授業は好きです」と肯定的に答えた生徒は 79 人・70%，また、学習・生活に関するアンケートにおいては、「英語の授業が好き」と肯定的に答えた生徒は 77%，「英語の授業はよくわかる」と肯定的に答えた生徒は、80.5%だった。そして、「英語が好きではない」「英語の授業がよくわからない」をあげた生徒は 34 人であった。その理由は、「英語が書けない。英語が覚えられない」という理由がほとんどであった。「英語の授業は好きだけど、英語は苦手」と言う生徒も多くいる。しかし、2 学年の生徒は、よく声が出る学年であり、音読をする際においてももしっかり読むことができる。ペア練習においても、ペアが誰になっても協力し、教え合いながら取り組むことができ意欲的である。

単元の指導

本単元の新出文型はないが、既習事項である be 動詞及び一般動詞の過去の肯定文や否定文を学ぶことで過去のことについて伝えたり、たずねたりすることができるため、週末や長期休暇の過ごし方について友だちに伝える活動が期待できる。指導の留意点としては、be 動詞と一般動詞の区別、一般動詞の規則動詞、不規則動詞の過去形の区別に留意して表現させていく。文を作成する上で、中心となるトピック（opening）、具体的な内容である展開（body）、自分の気持ちや印象であるまとめ（ending）を意識させるとともに、1 年生で学習した「話題・出来事・しめくくり」と同じであることを思い出させながら取り組ませたい。日本語を英語に変えていくのではなく、自分の伝えたいことをキーワードでまとめ伝わりやすいよう、文の流れを工夫するよう指導していく。

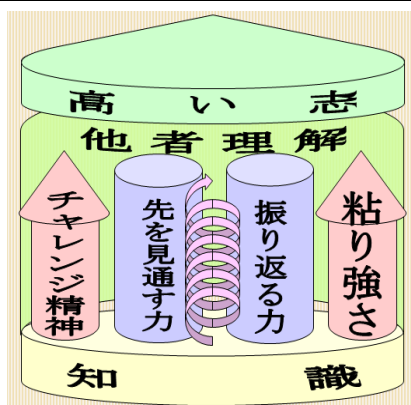
単元の目標

- 辞書を使うなどして、積極的に調べようとしている。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 日常的な話題について、自分の考えや伝えたい情報をまとまりのある文章で書くことができる。
【外国語表現の能力】
- 過去形が使用された文章を読み、大まかな内容を読み取ることができる。
【外国語理解の能力】
- 帯活動である読みトレ50による外国の文化に触れることができる。
- Be 動詞や一般動詞の過去形の文型を理解することができる。
【言語や文化についての知識・理解】

単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①辞書を使って自分の考えを書こうとしている。 ②メモやキーワードを用いて英文を書こうとしている。	① 日常的な話題について自分が体験したことや感想を6文以上で書くことができる。 ② 読み手にわかりやすいようにまとまりのある文章で書くことができる。		①動詞の過去形の文型を身に付けている。

本単元で育成しようとする資質・能力



本校が身に付けさせたい7つの力

- 〈高い志〉
- 〈知識〉
- 〈振り返る力〉
○他者の意見を取り入れ自分の文章を見直すことができる。
- 〈先を見通す力〉
- 〈チャレンジ精神〉
- 〈粘り強さ〉
○既習事項や辞書を使用し自分の体験談を書くことができる。
- 〈他者理解〉
○読み手にわかりやすいように流れを考えた文章を書くことができる。

指導と評価の計画

(全 2 時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					
		関	表	理	知	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1	課題の設定 ○ Power up Writing ・ P.14 の新出単語の練習をする。 ・ はじめ, 展開, まとめを意識させながら本文内容を理解する。 ・ 音読練習をする。						
	情報の収集 ・ 自分の体験・経験を思い出し, 収集する。 整理・分析 ・ キーワードで書く。 表現 実行 ・ 自分の体験を英文で書く (1 時間) 【本時】	○			○	ア① (ワークシート)	粘り強さ (観察)
2	まとめ ・ 自分が書いた英文をグループ内で共有しチェックしあう。 ・ 共有したものを再度修正したり, 付け加え, 完成させる。				○	イ②	他者理解 (活動の観察)
	振り返り ・ 活動を振り返える。 (1 時間)						振り返る力 (ワークシート)

本時の学習 (1 / 2 時間)

(1) 本時の目標

- ①相手にわかりやすい文章になるように工夫する。
- ②辞書を使うなどして, 積極的に自分の体験を書こうとしている。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て (◆)	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1 帯学習 (5分)			
○ あいさつ ○ 読みトレ ・ 個人で黙読 ・ Listening ・ Q&A	◇ 声の大きさ・姿勢・4秒礼を意識させる。 ◇ 分からない語彙があっても読み返さない。 ◆ 答えのヒントを与える。		
2 本時のめあてを確認する。(1分)			
○ めあてを確認する。			
動詞の過去形を使って6文以上の英文で体験談を書くことができる。			
○ 本日の評価を理解する。	◇ 本日の評価を生徒と共有する。 ◇ 流れを説明する。		
3 大まかな内容を読み取る。(10分)			
○ p. 14 の新出語句を確認する ○ 教科書の内容を確認。(Opening, Body, Ending を意識させながら内容を読み取る。) ○ 音読練習	◇ 繰り返し練習を行う。 ◆ 区切りを意識し、しっかり声を出させる。	ウ① (ワークシート) エ① (ワークシート)	
4 キーワードをもとに、6文以上の英文を書く。(分)			
○ 自分が最近したこと書いてみたいことを整理させる。 ○ 言いたいことを分類し数字で順番を書かせる。 ○ 気持ちを表す語は巻末資料を参照する。	◇ できるだけキーワードを多く出させる。 ◆ 1年生の時に学んだことを提示する。 【対話的な学習場面】 自分が書いた英文を、時間をとって見つめ直し、考え直す。	ア① (ワークシート) イ① (ワークシート) ア② (後日テスト)	粘り強さ (観察)
【「おおむね満足できる」状況 (B) と判断する根拠】 ○ 動詞の過去形を用いて自分の体験を6文以上で書いている。			
【「十分満足できる」状況 (A) と判断する根拠】 ○ (B) を踏まえて自分の気持ちを表現し、文章の流れを意識して書くことができている。			
【「努力を要する」状況 (C) と判断する生徒への手立て】 ○ わからない場合は、辞書を用い、教科書等を参考にしながら文章を書こうとしている。			
5 本時のまとめと次時の確認をする。(3分)			
○ 本時のまとめ ○ 自己評価の記入 ○ 次時の確認	◇ 目標にあった自己評価をさせる。		振り返る力 (ワークシート)

(3) 板書計画

本時のめあて

動詞の過去形を使って6文以上の英文で体験談を書くことができる。

Friday September twenty fifth

- (1) 最近の体験談をキーワードでまとめる。
- (2) 伝えたいことを分類し、番号を打つ。
- (3) Opening, Body, Ending を意識する。
- (4) 伝わりやすいように工夫する。

1 時間の流れカード